令和７年度 保健所圏域地域・職域連携推進事業実績評価 報告（保健所圏域別一覧）

参考資料5

区分	二次医療圏	保健所等名	PDCA実施状況 長期的アウトカム指標の設定（住民の健康状態や患者の状態を測る指標；健康寿命や疾病有病率等） 協議会報告状況	報告・協議内容	短期的アウトカム指標の設定（保健医療サービスの実施状況；けんしん受診率、喫煙率等） 協議会報告状況	報告・協議内容	保健所圏域において特に課題だと考えている分野 該当項目（３項目まで選択可） 栄養・食生活	身体活動・運動	休養・睡眠	飲酒	喫煙	歯と口の健康	健診	がん検診	重症化予防	ロコモ	フレイル	骨粗鬆症	メンタルヘルス	ヘルスリテラシー・気運醸成	ICT（PHR等）活用	社会環境整備	健康経営	その他	課題となる理由	保健所圏域地域職域・連携推進事業関係会議での達成内容（複数回答可） 会議構成員が、それぞれの立場での既存の健康に関する情報や取組みについて、報告し、意見交換を行えた	会議構成員が、課題意識を共有し、連携した取組みの実施について確認できた	課題の明確化のため、圏域独自の調査の実施を確認できた
府管保健所	01豊能	**01池田保健所**	○	健康寿命の延伸	○	1日の野菜摂取目標量の認知度	○	○			○														地域診断シートより、高血圧の未治療者が多い可能性が示唆されているため。	○		
	02三島	**04茨木保健所**																		○		○			①健康日本21（第３次）及び第４次府健増計画において、誰一人取り残さない健康づくり、そのための社会環境整備の推進体制に地域・職域連携推進協議会が位置付けられている。②管内の状況として、65歳以上の退職後の国保加入者で高血圧、糖尿病、脂質異常症等の未受診者が多い可能性が示唆された（ヘルスアップ支援事業地域診断シート）。①②の状況から、働く世代等の健康無関心層へのアプローチを優先課題とし、その取組みとして、ヘルスリテラシーの向上や社会環境整備が重要と考えたため。	○		○
	03北河内	**07守口保健所**									○		○		○										保健所圏域において喫煙率が全国や大阪府に比べて高い傾向にあること、健診受診率は特に門真市では大阪府に比べて低いこと、SMRで腎不全、心疾患、脳血管疾患が全国や大阪府と比べ高い傾向があるため。	○	○	
	03北河内	**08四條畷保健所**	○	・部会（事業検討部会）で優先課題を設定し、令和７年度中間評価を実施。 ・管内三市の健康増進計画の指標を参考に設定している。	○	部会（けんしん・保健指導向上部会）ではがん検診受診率等の管内三市比較を実施し、管内市の健康増進計画上の指標を参考に設定している。	○							○						○						・管内三市共にがん検診受診率が低い。 ・管内三市ともに、高血圧やと糖尿病等食生活の改善が必要な疾病の有病率が高い。	○	○	
	04中河内/05南河内	**12藤井寺保健所**											○		○					○					・総医療費に占める糖尿病の割合が高い。 ・圏域における取組については、健診受診勧奨、重症化予防、ヘルスリテラシー、気運醸成に関する協議会の意見があった。	○	○	
	05南河内	**13富田林保健所**	○	・働くことが健康につながる職場環境づくりの取組みができる。 ・地域で健康づくりに取り組む事業所が増える。	○	働くことが健康につながる職場環境づくりの共通認識をもつことができる。		○												○		○			事業所の声として、健康意識の低さ、健康に無関心であること。地域データから、40～50代の運動習慣がない、20～30代の朝食欠食、健診後の未受診・未治療の課題がある。		○	
	07泉州	**15和泉保健所**											○		○					○					胃・子宮頸がん・乳がん検診受診率は全国・大阪府と比べて低い。50歳代の高血圧の割合が高い。39歳以下と55歳以上の糖尿病の割合が高い。地域・職域関係機関の気運醸成が課題。	○		
	07泉州	**16岸和田保健所**	○	市民が高血圧による心疾患・脳血管疾患を減らす	○	（岸和田G）・経営者層が従業員の高血圧予防について意識できる。 （貝塚G）・住民や市内勤務者が30歳代から高血圧予防行動がとれる。	○	○																○	＜標準化死亡比＞(H25-H29)両市とも心疾患が特に高い＜特定健診結果＞(R2協会けんぽ、R3国保)・特定健診での高血圧者の割合が府より高い・高血圧未治療者の割合が大阪府より高い	○	○	○
	07泉州	**17泉佐野保健所**									○			○											泉南は紡績及びアスベスト工場がさかんだった背景により肺がんリスクが高い地域とされるため。喫煙率が高いため。	○	○	
政令・中核市	01豊能	**02吹田市**	○	本市の健康増進計画である健康すいた21の重要業績評価指標の進捗を報告している。	○	健康すいた21の成果指標、評価指標の進捗を報告している。														○	○				個人の健康づくりを推進し、全ての人が健康になれることを支えるためには社会環境整備が重要であると考えるため。	○		
	01豊能	**03豊中市保健所**	○	健康寿命及び健康寿命と平均寿命の差について	○	特定健診受診率、特定保健指導実施率、データヘルス計画に基づく保健事業の実施状況など							○	○			○								健診受診率が府内他市と比べて低いため		○	
	02三島	**05高槻市保健所**	○	会議時に、計画冊子を配布することで、目標値（長期的アウトカム指標）を再確認している。	○	会議時に、各事業の実績を報告している。	○	○							○										高血圧対策が課題の一つであるため	○	○	
	03北河内	**06寝屋川市**	○	本会議で寝屋川市の健康状態や健（検）診の受診率を報告している。	○	特定健診やがん検診の目標値を設定している。							○	○			○								健（検）診受診率が低い、健康寿命が府の中で低い。	○	○	
	03北河内	**09枚方市**	○	健康増進計画に位置付けている内容を連絡会で共有している。	○	健康増進計画に位置付けている内容を連絡会で共有している。		○																○	運動習慣のある人の割合が著しく低い企業に健康経営の必要性・重要性を伝えても取り組み始める企業が少ない		○	
	04中河内	**10八尾市保健所**															○							○	八尾市では、国民健康保険加入者の健診・医療データの分析結果より、糖尿病が課題であることが明らかになっている。また、八尾市では、要介護認定率が全国・大阪府に比べて高く、府内でも上位であることから、健康寿命の延伸のためには、フレイル予防に取り組むことが必要であると考えている。以上のことから、「八尾市健康まちづくり計画～健康日本21八尾第4期計画及び八尾市食育推進第3期計画～」において、糖尿病対策とフレイル対策に重点的に取り組むこととしている。		○	
	04中河内	**11東大阪市保健所**				案は作成済みだが、全体での合意形成に至っていない。							○							○					東大阪市は従業員50人未満の事業所が大部分を占めるが、50人未満の事業所は労働基準監督署への定期健診実施状況の届出義務がないため健診を実施していない事業所が多い。協議会の意見交換において、地域、職域ともにヘルスリテラシーに課題があると報告された。	○		○
	06堺市	**14堺市**	○	KGI：健康寿命	○	KPI：健康経営に取り組む中小企業数																		○	9つの主要な健康課題を選定しています。 さかい健康プランにおいて、堺市民の健康を取り巻く状況と各計画の評価の結果、健康寿命の延伸への寄与が大きく、改善の余地がある等の観点から選定している。 ①がんリスク要因の改善　②循環器疾患のリスク要因(高血圧・糖尿病等)の改善　③フレイル対策　④生活習慣病による早世の減少　⑤適正体重・体格を維持するものの増加　⑥喫煙・受動喫煙の減少　⑦進行した歯周炎の改善　⑧現役世代のメンタルヘルス対策(睡眠・休養・アルコール)　⑨朝食喫食者の増加(食育の推進))	○	○	
	08大阪市	**18大阪市**	○	地域・職域連携推進協議会は、健康増進計画の推進会議と兼ねて開催しており、健康増進計画の全体目標及び分野別目標の進捗状況を報告している。	○	地域・職域連携推進協議会は、健康増進計画の推進会議と兼ねて開催しており、各分野別の取組（アクションプラン）等の進捗状況を報告している。							○	○						○					■がん検診・■健診（特定健診等）：各種検（健）診受診率が低値であり、認知度の低さ、周知の難しさ、受診に係る勤務時間の制約、企業間の体制格差等が要因がとして考えられる。健康状態の把握や疾病の早期発見・予防に関わる部分であり、まずは、受診率向上が課題。 ■ヘルスリテラシー・気運醸成：市民のヘルスリテラシーの向上は生活習慣の改善や健康状態の底上げ、ひいては健康寿命の延伸につながる根底であり、多様な情報があふれる中で、確実に分かりやすい情報提供・周知啓発の充実、環境整備を進める必要があり、重要な課題。	○	○	
合計			11		11		4	5	0	0	3	0	7	5	4	0	3	0	0	7	1	3	0	4		14	13	3